

2019年6月8日

立憲民主党北海道連合 様
日本共産党北海道委員会 様
国民民主党北海道連合 様
社会民主党北海道連合 様

参議院議員選挙勝利に向けての政策協定についての要請書

戦争させない市民の風・北海道

共同代表 上田文雄 川原茂雄 山口たか

安倍政権は、あいつぐ閣僚の暴言・失言と辞任、忖度政治に国民の批判が強まる中、その暴走はとどまるところを知りません。安倍首相の「改憲」への執念は衰えず、次の参議院議員選挙では「改憲」をめざすことを公約として掲げるとしてありますが、世論調査では多くの国民が反対をしています。このような安倍政権の暴走と安倍壊憲への策動を許さないためには、立憲主義の原理を共有する野党と市民との共同の絆を強くし、共闘関係の構築を進めていかなければなりません。

私たち戦争させない市民の風・北海道（以下、市民の風）は、次の参議院議員選挙において、憲法改悪に反対し、安保関連法の廃止と立憲主義・民主主義の回復をめざす立憲野党と立候補者を応援・支援し、参議院全体で3分の1以上の議席獲得をめざし、北海道選挙区については3議席中2議席以上の議席を獲得することに全力を尽くしたいと思います。また、比例区についても立憲野党議員が一人でも多く議席を獲得することに力を尽くしたいと思います。

つきましては、立憲主義の原理を共有する野党各党および参議院議員選挙北海道選挙区立候補予定者との基本政策についての協議をすみやかに行い、政策協定を締結したいと思います。そのうえで市民の風との間で政策協定を締結した政党、候補者予定者に対して、市民の風のメンバーは、参議院議員選挙での勝利のため、それぞれの意志と立場から、それぞれの政党、候補を創意工夫しながら全力で応援していきたいと思います。

私たち戦争させない市民の風・北海道は、立憲主義の原理を共有する各野党とその立候補予定者が、私たちの提起した基本政策を重く受け止め、その実現のために参議院議員選挙での勝利にむけて共に全力で闘うことを求めたいと思います。

○戦争させない市民の風・北海道の参議院議員選挙にむけての取り組み（2019.6.06）

①戦争させない市民の風・北海道は、次の参議院議員選挙において、憲法改悪に反対し、安保関連法の廃止と立憲主義・民主主義の回復をめざす政党と立候補者を応援・支援し、参議院全体で3分の1以上の議席獲得をめざし、北海道選挙区については3議席中2議席以上の議席を獲得することに全力を尽くします。また、比例区についても立憲野党議員の議席獲得に力を尽くします。

②参議院議員選挙北海道選挙区に立候補を予定する野党各党および立候補予定者と市民の風との基本政策についての協議をすみやかに行い、政策協定を締結した立候補者については推薦を出します。

③市民の風が政策協定を結んだ政党、推薦した候補者にたいして市民の風のメンバーは、それぞれの意志と立場から、それぞれの政党、候補を創意工夫しながら応援していきます。

④野党各党および立候補者予定者との政策協議では、以下の9点を基本政策の合意点にしたいと思います。

- 1、安倍政権が進めようとしている憲法の「改定」とりわけ第9条の「改定」に反対すること。
- 2、特定秘密保護法、共謀罪法、安保安法など安倍政権が成立させた立憲主義に反する諸法律の廃止をめざすこと。
- 3、福島第一原発事故の検証と道民の合意がないままでの原発再稼働を認めず、新しい日本のエネルギー政策の確立と地域分散型エネルギー体制の確立によって、できるだけ早期に原発ゼロ社会の実現をめざすこと。
- 4、森友・加計学園問題、公文書改竄、日報隠蔽、統計不正などの疑惑を徹底究明し、透明性が高く公平な行政の確立をめざすこと。
- 5、子ども・若者がすこやかに育ち・学び・働くことを可能にするための保育、教育、雇用に関する予算を拡充し、積極的な政策を推し進めること。
- 6、すべての働く者が安心して働くことができるルールを実現し、貧困・格差を解消して生活を底上げできる経済・社会保障政策の確立をめざすこと。
- 7、男女の雇用差別や賃金格差・地域格差を撤廃することに取り組むこと。
- 8、LGBTsをはじめとする、あらゆる差別の解消に取り組むこと。
- 9、2019年10月に予定されている消費税引き上げを中止し、所得、資産、法人の各分野における総合的な税制の公平化を図ること。

○衆議院選挙（ダブル選挙）にむけての取り組み

- ・立憲野党との政策協定を前提に、立憲野党の現職がいる選挙区については、現職議員を市民と野党の統一候補としていくよう要請します。
- ・それ以外の選挙区については、市民と野党の統一候補者が実現できるよう各党に要請します。
- ・統一候補実現の過程の透明性をはかり、市民参加の候補者選定に努力します。
- ・前回の衆議院選挙比例区で共産党現職議員の議席を失ったことの反省を踏まえ、共闘への努力をはりたいと思います。